

## 令和2年度 初任者研修 総合教育センターにおける研修計画について

### 運営の基本方針

- (1) 文部科学省で示している7つの分野(基礎的素養・学級経営・教科指導・道徳・特別活動・総合的な学習の時間・生徒指導・進路指導)を中心に行う。
- (2) やまなし教員等育成指標で示している、求められる資質・能力に基づいて行う。
- (3) 体験活動・情報交換を重視し、校種の枠を超えて課題等を協議できる機会とする。
- (4) 主体的・自主的な研修態度を育成する。

文部科学省が示している分野・項目		やまなし教員育成指標の項目	総合教育センターにおいて計画した研修			
研修分野	研修項目	求める資質・能力	実施日時	研修内容	研修時間	
基礎的要素	1 公教育の役割と諸課題の解決に向けた取組	教職としての素養、教員としての専門性	4月10日	学校教育の現状と課題	1.0	
	2 学習指導要領と教育課程の編成	学習指導	4月24日	学習指導要領と評価	1.5	
	3 学校教育目標の具現化に向けた取組	学校運営(教育課程)	4月10日	初任者としての学校運営への参画	1.0	
	4 教員の勤務と公務員としての在り方	教職としての素養	4月10日	教育公務員の服務	1.0	
				7月3日	教育公務員の勤務と給与	1.0
	5 学校の組織運営	学校運営全般	4月10日	初任者としての学校運営への参画	1.0	
	6 教員研修と教員としての生き方(在り方)	教職としての素養、学校運営(研修)		社会人としての接遇の在り方	1.0	
	7 教育課題の解決に向けた取組					
	①人権教育	生徒指導(児童生徒理解、道徳性の涵養)	4月24日	人権教育	1.5	
	②環境教育	学習指導	6月5日	教科指導法1	3.0	
				夏期休業中	教科指導法2・3	6~12
	③教育の情報化等への対応	新たな教育課題(情報教育の推進)	4月24日	授業でのICTの活用	1.0	
				7月3日	情報に関する危機管理	1.5
				1月8日	情報技術実践(ICT活用授業実践報告)	5.5
	④教育の国際化への対応	新たな教育課題(グローバル化への対応)				
⑤学校保健、安全指導の進め方	学校運営(学校安全)	7月3日	健康教育 保健安全	1.5		
⑥食に関する指導の進め方(含む給食指導)			健康教育 食育	1.0		
⑦その他教育課題への対応						
8 特別支援教育の制度と具体的な取組	生徒指導(児童生徒理解)、特別支援教育	4月24日	特別支援教育基礎	1.5		
		5月22日	特別支援学校参観	6.0		
9 教育機関や企業等における体験を通じた研修	学校運営(連携・協働、研修)	10月16日	博物館等の学校教育への活用の仕方	3.0		
10 研修の総括	教職としての素養、教員としての専門性	1月22日	初任者研修の成果と課題	2.5		
			初任者の今後に期待すること	1.0		
学級経営	1 学級経営の意義	生徒指導(学級経営)	4月10日	学級経営の基本的な考え方	1.5	
	2 学級経営の実際と工夫			学級経営の実際と課題		
	3 保護者と連携を図った学級経営					
	4 学級事務の処理					
教科指導	1 基礎技術に関する研修	学習指導	6月5日	教科指導法1	3.0	
	2 授業の進め方に関する研修			夏期休業中	教科指導法2・3	6~12
	3 授業参観に関する研修					
	4 授業研究に関する研修					
道徳	1 道徳教育の基礎的理解に関する研修	生徒指導(道徳性の涵養)	8月17日	道徳教育の意義と進め方	2.5	
	2 道徳の時間の指導に関する研修			道徳教育 授業づくり	3.5	
特別活動	1 特別活動の教育的意義	学習指導	6月19日	特別活動の意義と進め方	1.5	
	2 特別活動の指導計画と授業の実際	生徒指導	8月8日	防災教育の意義と進め方	3.0	
	3 学級活動の指導と評価の工夫改善	学校運営(教育課程)				
	4 児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の指導と評価の工夫改善			7月3日	部活動の在り方	0.5
				5月31日	宿泊研修事前研修	4.0
				6月5日		
				前団 7月28日~29日 後団 7月30日~31日	宿泊研修	1泊2日
					校外学習等の引率の心構え	1.0
					野外炊事の実際	2.5
					自然観察の実際と指導法	5.0
ストレスマネジメント	1.0					
今までの実践を振り返っての情報交換会	1.5					
研修のまとめ	1.5					
総合的な学習(探究)の時間	1 趣旨・ねらいに関する研修	学習指導	7月28日・30日	総合的な学習(探究)の時間の意義と進め方	1.0	
	2 全体計画の作成に関する研修	キャリア教育		総合的な学習(探究)の時間の実際	1.0	
	3 学習活動の進め方に関する研修					
	4 評価に関する研修					
生徒指導 進路指導	1 生徒指導	生徒指導	4月24日	生徒指導の意義と進め方	1.5	
			6月19日	教育相談の意義と進め方 教育相談基礎演習	1.5	
	2 進路指導	キャリア教育	6月19日	キャリア教育の進め方	1.0	

# 初任者研修計画一覧

教※1 教職員大学院・修了者

期※2 期間採用教員・代替教員経験者(直近5年間に3年同校種)

対象	実施日	一般初任者			一部免除 初任者	研修会名	研修内容	会場					
		初	教※1	期※2									
小中高特 養栄	4/10(金) → 4/24(金) 「代替」	受講	受講	受講	開講式	開講式 講話(教育監)	総合教育センター						
						教育公務員の服務		教育公務員の服務 研修の概要オリエンテーション					
						教職としての素養		初任者としての学校運営への参画 研修申込方法					
						学級経営		【小・中・高】学級経営の理論と実践 【特】新任教員の心構え					
						養護教諭専門1		学校保健活動の推進と養護教諭の役割					
						栄養教諭専門1		栄養教諭の役割					
小中高特 養栄	4/24(金) → 5/22(金) 「代替」	① ② ③ ⑤ 受講	① ② ④ ⑥ 受講	① ② ④ ⑥ 受講 ③ ⑤ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	①生徒指導	生徒指導の意義と進め方	総合教育センター						
					①養護教諭専門2	健康管理							
					①栄養教諭専門2	学級活動における食に関する指導							
					②特別支援教育基礎	特別支援教育の現状と今後の課題							
					③授業でのICTの活用	授業における情報教育機器の効果的な活用の仕方							
					③養護教諭専門3	養護教諭のための情報処理							
					③栄養教諭専門3	栄養教諭のための栄養管理							
					④人権教育	人権教育の実践的な進め方							
					⑤学習指導要領	学習指導要領と学習評価							
					⑥防災教育	防災教育の実践的な進め方							
小中高特 養栄	5/22(金) (中止)				特別支援学校参観	特別支援学校参観(9校) 研究協議							
小中高特 養栄	6/5(金) 「分散型」	受講	免除	免除	教科指導法1	【小】国・社・算の指導法(選択履修) 【中・高】教科別 【特】小・中・高の教科選択	総合教育センター						
					養護教諭専門4	学級活動における保健指導							
					栄養教諭専門4	食に関する指導の在り方							
					人権教育基礎	人権教育の意義と進め方(いじめ・体罰を含む)							
					宿泊研修事前1	宿泊研修事前研修							
小中高特 養栄	6/19(金) 「分散型」	受講	受講	受講	学校教育相談	教育相談の意義と進め方	総合教育センター						
					キャリア教育	キャリア教育の意義と進め方							
					養護教諭専門5	食物アレルギー対応							
					栄養教諭専門5	食物アレルギー対応							
					特別活動	特別活動の意義と進め方							
					養護教諭専門6	食物アレルギー緊急時対応							
					栄養教諭専門6	学校給食の活用							
					宿泊研修事前2	宿泊研修事前研修							
					小中高特 養栄	7/3(金) 「分散型」		受講	受講	受講	危機管理～情報～	情報に関する危機管理	総合教育センター
											健康教育～保健・安全～	学校安全と健康教育の意義と進め方	
部活動の在り方	部活動の意義と進め方												
健康教育～食育～	食育の意義と進め方												
教育公務員の勤務と給与	教育公務員の勤務と給与												
小中高特 養栄	7/28(水)	受講	受講	免除	終日研修1(前団)	校外学習等の引率の心構え 自然観察活動の実際と指導法 ストレスマネジメント	総合教育センター						
	7/29(水)				終日研修1(後団)	校外学習等の引率の心構え 自然観察活動の実際と指導法 ストレスマネジメント							
	7/30(水)												
	7/31(金)												
小中高特 養栄	8/17(月)	受講	免除	免除	道德教育	道德教育の意義と進め方 道德授業づくり	総合教育センター						
					養護教諭専門8・9	健康管理、食物アレルギーについて 保健指導の進め方							
					栄養教諭専門8	衛生管理							
小中高特 養栄	夏期研修会	受講	受講	受講	教科指導法2	【小】 外国語活動研修を全員履修 【中・高】 各教科別に教科専門研修より選択履修 【特】 研修番号(503)(504)から1つ選択	総合教育センター						
					養護教諭専門7	「救急処置研修会」履修							
					栄養教諭専門7	「食育研修会」を履修							
小中高特	夏期研修会	受講	受講	受講	教科指導法3	【小】 音楽・図画工作・家庭・体育(教科専門研修より「選択履修」) 【中・高】 教科専門研修より「選択履修」 【特】 教科指導法2で選択した研修以外から1つ選択	総合教育センター						
小中高特 養栄	10/16(金)	受講	免除	免除	防災教育基礎	防災教育の意義と進め方	総合教育センター						
					博学連携	博物館等の訪問(5施設)と学校教育への活用の仕方	各会場						
小中高特 養栄	1/8(金)	受講	受講	受講	ICTを活用した授業実践	ICTを活用した授業実践発表と研究協議	総合教育センター						
					養護教諭専門10・11	保健教育実践発表と研究協議 学校保健活動の評価							
小中高特 養栄	1/22(金)	受講	受講	受講	研修の成果と課題	初任者研修の成果と課題についての発表と研究協議	総合教育センター						
					教育次長講話	講話(教育次長)							
					閉講式	閉講式							

以上に加え、小中高特は半日×5回～6回の授業研修会を行う。

## 「令和2年度初任者研修の弾力的実施」について

### 【目的】

【1】若年期教員の資質能力向上に向けた育成の充実

【2】初任者の背景に応じた個別的対応

【根拠資料】文科省「初任者研修の弾力的実施について（通知）」平成30年6月26日

### 【1】「若年期教員の資質能力向上のための初任者研修時間・日数の弾力的設定」

⇒校内研修及び校外研修の弾力的設定により、校内で児童生徒と向き合う時間や実務研修等の時間を増やすなど、日々の校内研修を充実させる

研修内容	令和元年度	令和2年度	備考
①校内研修時間数	300時間以上	240時間以上	各校における初任者の指導状況を勘案し弾力化
(1)「示範」「参観」「講義」の時間	180時間程度	120時間程度	週当たり研修（現行）6時間程度 ⇒ (R2) 4時間程度（全30週）
(2)「準備」「まとめ」の時間	120時間程度	120時間程度	週当たり研修（現行）4時間程度 ⇒ (R2) 4時間程度（全30週）
②校外研修日数	R1年度実績 21日	19日	重複する研修内容等を整理

【校内】週2時間分の弾力化  
【校外】2日分の弾力化  
①校内で児童生徒と向き合う時間として活用  
②校内で実務研修等に活用 など

### ※「ソフォモア研修」：第1ステージの研修の体系化による若年期教員の継続的育成

①目的：「やまなし教員等育成指標」の第1ステージに受講する研修会を体系化し、若年期教員の主体的・継続的な資質能力向上を支援する

②時期：採用2年目から6年目の5年間で研修受講

③内容：「やまなし教員等育成指標」に基づき、自分で設定するテーマに沿った希望研修を5年間で1.5日分(0.5日×3回)以上受講し、五年経験者研修で発表する

【注】令和3年度から「ソフォモア研修」による研修受講開始。令和8年度の「五年経験者研修」から報告等を開始。

校外研修	初任研 (1年目)	ソフォモア研修				
		2年目	3年目	4年目	5年目	6年目＝五年経験者研修 3.0日
中・高・特別支援学校	19日	センター希望研修を5年間で1.5日分(0.5日×3回)以上受講 ⇒ ポートフォリオに記録				
小学校	19日	5年間で1.5日分(0.5日×3回)以上の研修を受講 ⇒ ポートフォリオに記録				
		小学校体育実習 3日(予定)	小学校理科実験 2日	(小学校は左記必修研修も対象研修に含む)		

### 【2】初任者の背景に応じた個別的対応

#### (1) 教職大学院修了者に対する一部受講免除

研修内容	免除時間・日数	免除後校内研修	備考
①校内研修時間数	60時間	180時間以上	教職大学院共通科目に基づく理論と実践(実習)の履修内容を勘案し弾力化
(1)「示範」「参観」「講義」の時間	30時間程度	90時間程度	週当たり研修（現行）4時間程度 ⇒ (R2) 3時間程度（全30週）
(2)「準備」「まとめ」の時間	30時間程度	90時間程度	週当たり研修（現行）4時間程度 ⇒ (R2) 3時間程度（全30週）
②校外研修日数	4日	15日	教職大学院共通科目の履修内容を勘案し弾力化

#### (2) 期間採用等経験者に対する一部受講免除

【対象】平成27年4月1日以降、「山梨県の公立学校の小・中・高・特別支援学校の臨時的任用教職員（期間採用教員・代替教員）として、令和2年3月31日現在で採用と同じ校種において通算3年以上の勤務経験がある者」とする。期間の計算にあつては、358日以上を1年とする。

研修内容	免除時間・日数	免除後校内研修	備考
①校内研修時間数	120時間	120時間以上	期間採用時等における現場での実務経験を勘案し弾力化
(1)「示範」「参観」「講義」の時間	30時間程度	90時間程度	週当たり研修（現行）4時間程度 ⇒ (R2) 3時間程度（全30週）
(2)「準備」「まとめ」の時間	90時間程度	30時間程度	週当たり研修（現行）4時間程度 ⇒ (R2) 1時間程度（全30週）
②校外研修日数	6日	13日	期間採用時等における現場での実務経験を勘案し弾力化

#### (3) 「免除」の対応について

1 「教職大学院修了者」「臨時的任用教職員」とも、校外研修と校内研修の「免除」については：

(1)「校内で児童生徒と向き合う時間や、各種校務に携わる時間を確保する」

(2)「個々の初任者や学校の実情に合わせ、日々の校内研修時間(OJT)を充実させる」等のために、各校で活用する。

(例)① 個々の経験から鑑みて補強が必要と思われる分野の研修 ② さらに専門性を高める研修 等

2 「免除」時間に行った指導等については「計画書」は不要とし、簡易な形式での「報告」のみとする。

3 拠点校指導教員、校内指導教員の指導時間、初任者配置による教員配当数等は変更なし。

令和2年度 中堅教諭等資質向上研修 必修研修計画一覧

山梨県総合教育センター

研修会名	校種	実施期日	研修場所	研修会名・内容	備考
必修1-1	小	12月28日(月) AMまたはPM	山梨大学 総合教育センター	○教科指導法研修会 与えられた課題に対して授業を行い、成果を持ち寄り指導を受ける	
	中			○養護教諭専門研修会 I (保健室経営)	
	高特 養 栄			○栄養教諭専門研修会 I (食に関する指導)	
必修1-2	小	随時 (6月下旬に決定)	各教育事務所等	○地域の教育事情研修会 教育事務所等が主催する研修会に参加する	
	高特	随時 (11月末日まで)	各学校	○他校種の授業参観及び研究会参加 受講者が管理職と相談して交渉・依頼する	
	養	12月1日(火)PM	総合教育センター	○養護教諭専門研修会 II (保健教育)	
	栄	11月19日(木)PM	総合教育センター	○栄養教諭専門研修会 II (栄養管理・衛生管理)	
必修2-1	小	3911 6月2日(火)	山梨県立大学	○学級経営に必要なコミュニケーションについて学ぶ研修会 各講座はそれぞれ50人程度で実施する	※新型コロナウイルス感染症対策のため「代替」実施
	中	3912 6月11日(木)			
	高特	3913 6月25日(木)	県立青少年センター		
	養 栄	自分の所属する校種に参加する 自分の所属する校種に参加する	○生徒理解に必要なコミュニケーションについて学ぶ研修会 ○生徒理解に必要なコミュニケーションについて学ぶ研修会		
必修2-2	小	3915 7月28日(火)AM	3915 都留文科大学	○道徳性とその涵養について学ぶ研修会 道徳性とは、その涵養方法について、また、学習指導要領の目指すところ等について学ぶ	
	高特 養 栄		3916 8月19日(水)AM		
必修3-1	小	3917 7月28日(火)PM	3917 都留文科大学	○教育現場におけるユニバーサルデザインの利用について学ぶ研修会 特別な配慮が必要な児童生徒の特長と、授業のユニバーサルデザイン化について学ぶ	
	高特 養 栄		3918 8月19日(水)PM		
必修4-1	小 中 高特 養 栄	5月19日(火) PM	総合教育センター	○中堅教諭としての連携・協働について学ぶ研修会 ①国および県の教育施策について ー県の教育の目指すところー ②中堅教諭としての在り方について	※新型コロナウイルス感染症対策のため「代替」実施
必修4-2	小 中 高特 養 栄	1月12日(火) PM	総合教育センター	○学校運営一研修(学び続けることの意義)研修会 ①学び続けることの意義について ー教員としてのあるべき姿ー ②大学院研修還流報告	
必修4-3	小 中 高特 養 栄	10月29日(木) PM	総合教育センター	○危機管理研修会 ①災害に対する対策事例を聞き、自身の教育活動に生かす ②避難所運営ゲーム(HUG)の演習を行い、校内の危機管理体制について考える	
必修5-1	小	10月29日(木) AM	総合教育センター	○新たな教育課題(グローバル化への対応)研修会	
	中			○養護教諭専門研修会 III (保健管理)	
	高特 養 栄			10月29日(木)AM 10月29日(木)AM	
必修6-1	小 中 高特 養 栄	8月7日(金) 終日	総合教育センター	○学校運営(カリキュラム・マネジメント)研修会 ○保健組織活動(カリキュラム・マネジメント)研修会 ○指導計画の立案と推進(カリキュラム・マネジメント)研修会	必修6-1、7-1、8-1は 教員免許状更新講習 を受講していれば、代 替申請が可能
必修7-1	小 中 高特 養 栄	随時	総合教育センター	○生徒指導・キャリア教育・新たな教育課題研修会	
必修8-1	小 中 高特 養 栄	随時	総合教育センター	○学習指導研修会 ○養護教諭専門指導研修会 IV ○栄養教諭専門指導研修会 IV	